



本で親子のスキンシップ

乳幼児期は、ことばや心が育つ大切な時期。特に好奇心旺盛で感受性豊かな2歳から6歳は、人生の中で最も絵本やお話を楽しむことができる。読み聞かせ黄金期と言われています。

また、本を通じた親子のスキンシップを図ることで、例えば「いつもこのページになると喜ぶのに、喜ばない」「この本が大好きなのに読もうとしない」といったときに「どうしたのかな」と変化を感じることが出来ます。

スキンシップを図るためには、子どもが興味を持つような、ほんとの面白いが必要です。

赤ちゃんの頃から絵本を

図書館では絵本を介し、心豊かな時間を作ってもらおうきっかけづくりを行っています。「ブックスタート(写真①)から始まり、「ブックスタートプラス(写真②)」「ぐりぐりタイム(写真③)」などを行っています。

ブックスタートとは、0歳児健診などのとき、絵本を楽しむ体験と読んだ絵本をプレゼントする活動です。町では4か月児健診と2歳6か月児健診のときに行っています。絵本にくぎ付けになる赤ちゃんを見て、保護者が「こんなに興味を持つのか」と感心するなど、本の魅力を伝える機会となっています。

ワクワクが湧く湧くぐりぐりタイム

図書館開館当初からは「ぐりぐりタイム(6か月児から小学生)」。ぐりぐりの人形を使い「絵本・紙芝居・手遊び」をして楽しみます。たくさんのお本に出会い、聞く力を育てる場として、20年以上住民に愛されています。子どもたちは目を輝かせ、次のページはどんなお話になるのかとワクワクし、一語一絵を楽しむ様子が毎回見られます。

地域ボランティアの協力

三芳町には多くの読書支援ボランティアが活躍しています。

一語一絵 ほんとのであい

問 中央図書館 ☎ 049-258-6464

ページをめくれば新しい世界が始まる。一つの語、一つの絵との出会い。「一語一絵」。心豊かな子どもに育てもらうため、町では本を通じた取り組みを行っています。



↑ブックスタートの様子。4か月の赤ちゃんも絵本をしっかりと楽しんでいます。



↑ブックスタート(4か月児)は左の2冊、ブックスタートプラス(2歳6か月児)は右の2冊を読み聞かせてから、うち1冊をプレゼントしています。



↑図書館のホームページでは、特設サイトを設け、子ども向けの本やイベントを紹介しています。



地域ボランティアが町内で活躍

町内の保育園で行われたおはなしサークル「かにかにこそこそ」の由水たけ子さんが読み聞かせをする様子。ボランティアで町内の保育所(園)を回り、定期的に子どもたちに読み聞かせやストーリーテリングを行っています。

ティアが活動しています。ブックスタートやぐりぐりタイム、保育所(園)に出向き、子どもたちに読み聞かせを行い、子どもの読書推進に大きな役割を果たしています。「町の子どもたちが本を好きになってほしい」という思いで皆さん活動しています。

ほんとのであい

本を読むこと、お話を聞くことで子どもたちの『想像する力』を育てることもできます。頭の中で耳から聞いた物語を映像化して、自分の世界を創る力、文字や言葉にふれることで、文章力、表現力も培われます。本を子育てに役立ててみてはいかがでしょうか。

Message from library 図書館から

親子のスキンシップはとっても大切です。10分でもいいので絵本を読んであげてください。親の声が耳に入ると、子どもの心が安定します。無理に話を進めずに、ゆっくり子どものペースで好きなように、好きな場面をじっくり見せてあげてください。ふれあうことで、子どもがどんなものに興味があるのか、その子の嗜好がわかります。ぐりぐりタイムなどで、おすすめの本を紹介しています。ぜひ活用してください。



PROFILE 代田知子

1956年生まれ。三芳町立図書館副館長・司書。NPOブックスタート理事、日本子どもの本研究会理事も務める。

毎月掲載しています。(今月は36ページ)



事業に参加した感想をお聞かせください

ブックスタートに参加

石井洋・菜帆さん、漣ちゃん

たまにですが、絵本を読み聞かせています。ブックスタートでお話を聞いているときのこの子の表情を見て「絵本を楽しんでくれているんだな」ということがわかり、とっても嬉しかったです。図書館で絵本を借りたくさんこの子に読み聞かせをしてあげたいと思いました。



ブックスタートプラスに参加

浅沼雅貴・美香子さん
直貴・香凛ちゃん

寝る前にいつも絵本を読んであげています。実は図書館に来たのは初めてなんです。保健センターは健診時に来ましたが、その目の前に図書館があることを知らずにいました。こうした取り組みを通じて、私たち住民に「図書館」という施設が身近にあるということを認識させてくれるきっかけにもなりました。帰りにさっそく絵本を借りていきます!



ぐりぐりタイムに参加

新濱深雪さん・大翔ちゃん

本を通じて、言葉の表現力や世界観を広げていってほしいと思い参加しています。スタッフが上手に楽しく読み聞かせてくれるので、この場をきっかけに本好きになってほしいです。また、季節にあった本、おすすめ本を紹介してくれるので、参考になります。子と一緒に本に触れあうため、なるべく参加しています。



読書支援ボランティアの力 子どもの喜びや笑顔のために

ブックスタートの読み聞かせをするのは町職員のほかに、地域のボランティアスタッフがを行っています。また、パパ・ママいっしょの絵本タイムなども地域のために開催。

